

# PDCAチェックシート

実施年度	令和3年度		担当課名	学校教育課
事務事業名	英語教育推進事業			
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
<p>■目的</p> <p>本市教育の大綱の重点施策に基づき、「地域の自然、伝統、文化を生かし、国際化に対応できる力を育む教育の推進」を図るため、英語教育を核とした教育実践を行う。初等教育段階から英語に親しませるため、学校の授業はもとより、市教育行政の多面的な働きかけによる事業展開を充実させることで、児童生徒のスキルやコミュニケーション能力の向上を目指す。</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】</p> <p>○英語4技能検定(GTEC)において、トータルGrade3以上到達率75%以上</p> <p>○実用英語技能検定の準会場実施に際し、全学年の希望者に対象を広げ、昨年度以上の成果を見込む。</p> <p>○中学生英語クラブ(Hi-Ec)の継続的な実施、各種イベントの開催</p> <p>【達成値(R3実績値)】</p> <p>○英語4技能検定(GTEC)</p> <p>トータル結果…Grade3以上は87.0% (内訳…Grade4:66.0%、Grade3:21.0%)</p> <p>○実用英語技能検定</p> <p>受験者総数192名(W受験13名を含む) 合格者数162名 合格率84.4% (内訳…2級:50.0%、準2級:53.3%、3級:81.7%、4級:86.4%、5級:100%)</p>	<p>■具体的取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育課程特例校としての特別教育課程 <ul style="list-style-type: none"> <li>○1・2年生 英語科 年35時間</li> <li>○3・4年生 英語科 年70時間</li> <li>○5・6年生 英語科 年105時間</li> </ul> </li> <li>2 英語4技能検定(GTEC)の実施</li> <li>3 実用英語技能検定の準会場実施</li> <li>4 中学生英語クラブ(Hi-Ec)の実施</li> <li>5 各種イベントの開催</li> </ol> <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>事業費等</p> <p>○全体 28,522千円</p> <p>【主な内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費 3,828千円</li> <li>・需用費 79千円</li> <li>・役務費 624千円</li> <li>・委託料 23,607千円</li> <li>・負担金補助及び交付金 384千円</li> </ul> <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>実施回数等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 英語4技能検定(GTEC) 162名受験</li> <li>2 実用英語技能検定 192名受験</li> <li>3 中学生英語クラブ(Hi-Ec) 実施回数…25回 延べ参加人数…394名</li> <li>4 各種イベント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロウィーンパーティー 61名参加</li> <li>・クリスマスイベント 49名参加</li> </ul> </li> </ol>	<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>○市内小学校6年生を対象に実施した英語4技能検定(GTEC)では、市全体でグレード3以上の割合が87.0%という結果となった。目標値としていた75%をクリアするとともに、令和2年度の83.7%も上回る成果となり、学力の向上傾向が見られる。教育課程特例校としての体制が5年を終える年となり、学校と市教育行政の協働による教育実践の効果が顕著に表れている。</p> <p>○市の準会場で実施している実用英語技能検定の申込対象を、今年度より中学校の全学年とした。加えて、検定料の半額を補助することで、より身近に受験機会を提供することができた。そのことが、受験意欲の向上につながり、級による難易度の違いや学年による既習事項の違いはあれど、全体として84.4%と高い合格率を記録した。</p> <p>○中学生英語クラブ(Hi-Ec)については、年間25回の実施となった。原則学校の部活動と同じ実施基準としたため、「まん延防止等重点措置」の期間については中止とした。毎回コンスタントに20名弱の参加があり、学校外でコミュニケーションスキルを身につける場として機能している。</p> <p>○各種イベントについて、当初予定していた夏休み中のイングリッシュキャンプは、新型コロナウイルス感染予防の見地から中止としたが、ハロウィーンとクリスマスについては、感染症対策を十分講じた上で開催することができた。地域住民や三本松高校とも連携しながら、慣例行事として定着しつつある。</p>	<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>先述の英語4技能検定(GTEC)や実用英語技能検定といった発達段階に応じた効果測定の結果に見られるように、市全体としての学力については一定の成果を上げている。しかし、学校間で学力や学習意欲の差が大きいことも事実であり、今後の課題となる。教育課程特例校としてのこれまでの実践が実を結び、各校で充実した指導が行われているが、今一度学習規律の徹底や個に応じた指導を見直すことで、高いレベルでの学力の平準化を目指す。</p> <p>上述の各種検定試験については、引き続き市教育行政が主導して運営していく。より多くの受験者を募るために、学校を通じた啓発に差が出ないように働きかけの仕方を工夫する。</p> <p>また、学力は高まっているが、そのことに比例して児童生徒のコミュニケーション能力や表現力が向上するわけではない。今後は、非認知スキルの向上を目指して、国際交流等の再開も視野に入れながら、一人ひとりの探求的な学習が進んでいくような学びの在り方を、学校とともに模索していく。その一端として、中学生英語クラブ(Hi-Ec)については、先駆的な団体となって活動の幅を広げ、実証による成果をもって各学校へと実践を広げていく。</p>	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。